

IV 令和2年度三重県経済の概況(参考)

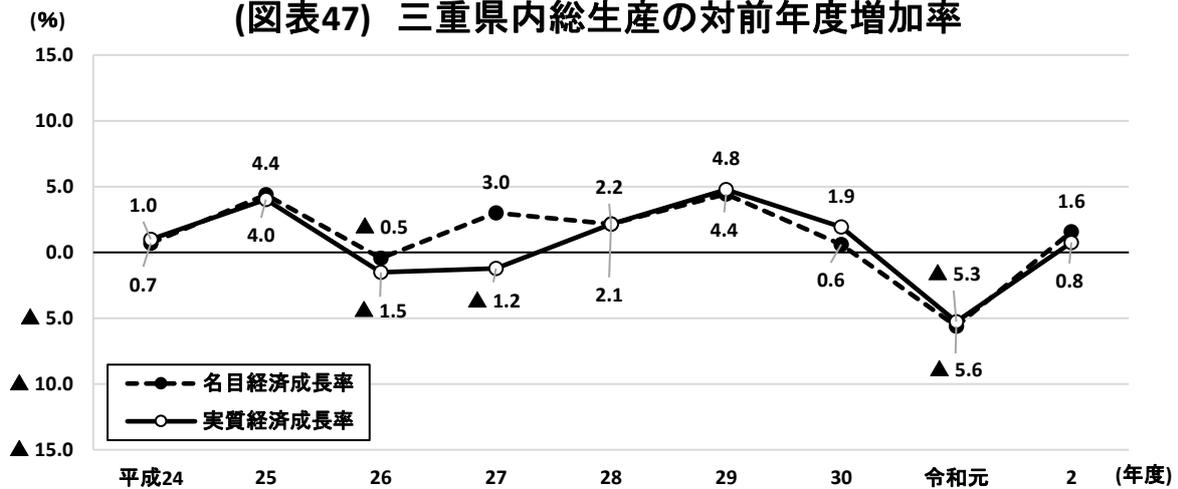
1 経済の動向

～ 経済成長率 名目：1.6%増 実質：0.8%増 ～

県内総生産は、名目では8兆2,731億円(対前年度増加率1.6%増)となり2年ぶりの増加、実質では8兆3,643億円(同0.8%増)となり2年ぶりの増加となりました。

三重県経済は、生産面では、宿泊・飲食サービス業、運輸・郵便業などが減少したものの、製造業、情報通信業などが増加し、名目、実質とも2年ぶりの増加となりました。

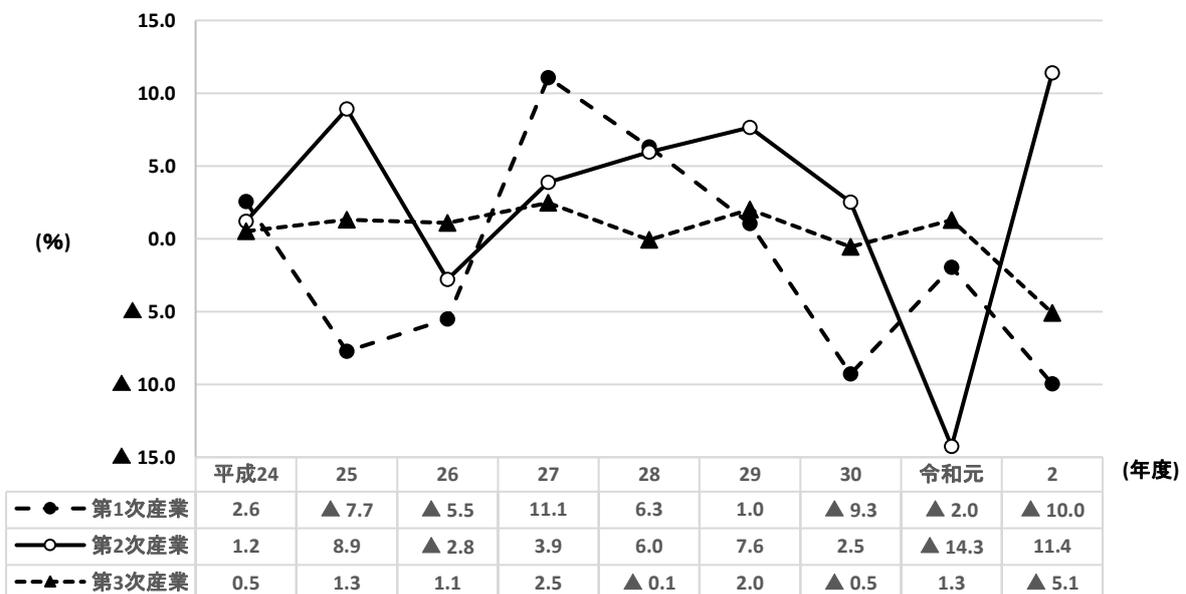
(図表47) 三重県内総生産の対前年度増加率



2 県内総生産(名目)

県内総生産(名目)の対前年度増加率を産業別にみると、第1次産業は水産業、農業、林業ともに減少したことから10.0%減となり、第2次産業は建設業が減少したものの、製造業が増加したことから11.4%増となり、第3次産業は専門・科学技術、業務支援サービス業、教育などが増加したものの、運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業などが減少したことから5.1%減となりました。

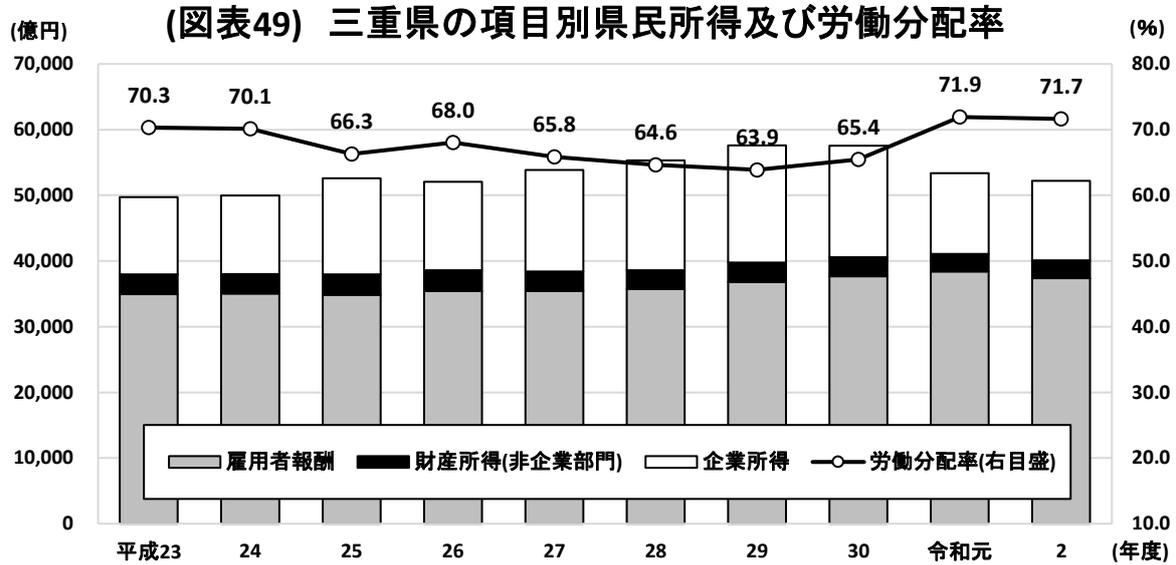
(図表48) 三重県内産業別総生産の対前年度増加率



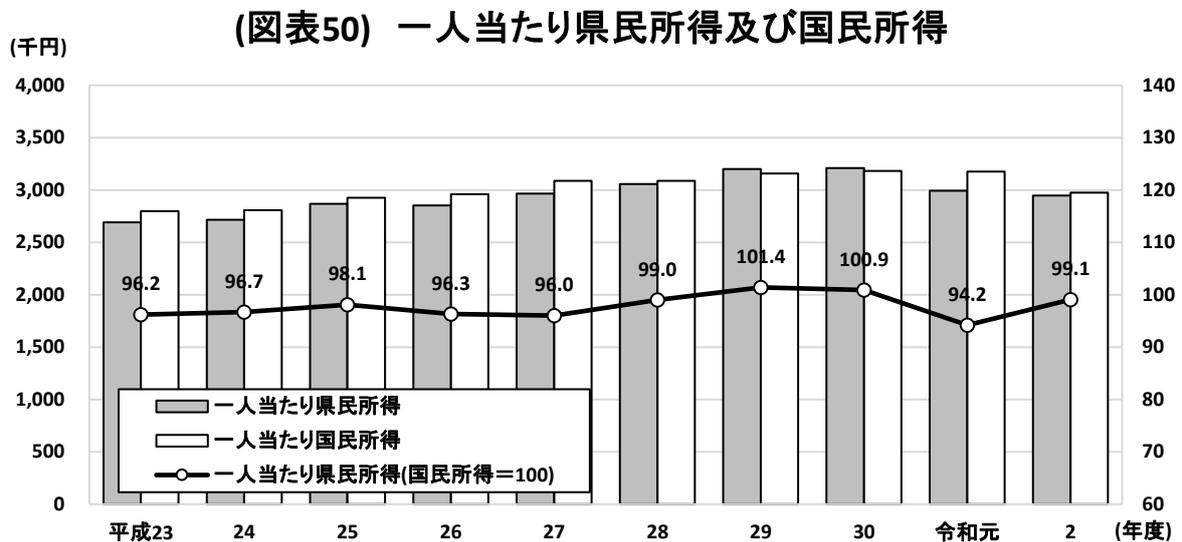
3 県民所得(分配)

県民所得(分配)は5兆2,195億円(対前年度増加率2.2%減)で、3年連続の減少となりました。項目別の県民所得をみると、県民雇用者報酬が3兆7,398億円、財産所得(非企業部門)が2,700億円、企業所得が1兆2,097億円となりました。

労働分配率は71.7%となり、前年度から0.3ポイント下落しました。



一人当たり県民所得は294万8千円(対前年度増加率1.5%減)で、一人当たり国民所得(297万5千円)を100とした場合の水準は99.1となり、前年度から4.9ポイント上昇しました。



4 県内総生産(支出側、名目)

県内総生産(支出側)は名目で8兆2,731億円(対前年度増加率1.6%増)となりました。

対前年度増加率では、民間最終消費支出が6.1%減で3年連続の減少、地方政府等最終消費支出が0.8%減で4年ぶりの減少、県内総資本形成が7.2%減で2年連続の減少となりました。

(図表51) 県内総生産(支出側、名目)の項目別寄与度の推移

